

平成30年度 自己点検・評価表(ISO 29990 対応版 Ver. 2.0)

実施日: 令和元年 6月3日

学校名: 横浜システム工学院専門学校

1. 学校の教育目標

- ・地域社会の情報化並びにグローバルな情報化に、職業実践的な情報化人材の育成
- ・文部科学大臣による職業実践専門課程認定校に相応しい情報化人材の育成
- ・経営の健全性保証及び教育の質保証
- ・教育満足度の向上に向けた教職員の能力開発
- ・ABCマインドの浸透・実践

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・アウトカムの向上
- ・実学と資格取得の両立
- ・自信・主体性を育む教育
- ・コミュニケーション能力の向上
- ・安心して過ごせる学園生活

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標		適切: 4、ほぼ適切: 3、 やや不適切: 2、不適切: 1	エビデンス (文書番号)	ISO29990 要求事項	
1	1 理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1	・学則 ・職業実践専門課程申請書類、職業実践専門課程認定後の公表資料別紙4 ・事業計画書 ・カリキュラム ・シラバス	4.2	
	教育理念 明示場所: 学則	情報処理・事務処理に関する専門的知識及び技術を、習得させ、職業もしくは実際生活に必要な能力の育成と教養の向上を図る			
	教育目標 明示場所: ホームページ上の「学校説明」	実技重視の実学教育、参加型の教育、産学連携による教育を通して、求められるIT人材を育成する。 ・学んだことを活かし作品づくりが出来る制作力の向上 ・グループワークによるチーム力やコミュニケーション力の向上 ・プレゼンテーション能力の向上 ・自信・主体性の向上 就職指導、就職支援の充実による就職率の向上。			
	各学科ごとの育成人材像 明示場所: 職業実践専門課程公開資料: 別紙4の目的	ITゲームソフト科: システム開発、ネットワーク、システム運用に携わる技術者の育成 ロボット・IoTソフト科: 組込みソフトウェアを中心に、ハード・ソフト系の仕事に携わる技術者の育成 コミック・CGアニメ映像科: Web、映像、CG、アニメーション、ゲームなどの制作に携わるデザイナーの育成 グローバルITビジネス科: 現場で求められるITビジネススキルを身につけ、ビジネスシーンで活躍できる人材の育成			
	専門分野の特性の明確化 明示場所: 学校案内の学科ページ、ホームページの学科ページ	上述の内容を、カリキュラム、教科、教育方法に展開している。 育成人材像は、具体的な職業名をつけてわかりやすくしている。			
1	2 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4 3 2 1	教育課程編成委員会議事録 各科のカリキュラム編成資料	3.1.1	
	全体共通	教育課程編成委員会で出された意見。 ・技術的な事よりも、人間力、特に対人スキルやコミュニケーションスキルが大切 ・会社に入ってから伸びしろの大きい人材が欲しい ・学習したことや経験したことを自分の言葉で話せるような人材が欲しい ・説明能力を育てほしい ・働く意欲があり、進みが速く強い意志のある人材が必要 ・実践型教育、特にプロジェクトを通じた教育に注目している ・チーム作業を経験し、座学では身に付かないものを得てほしい =>いわゆる「社会人基礎力」を向上させることが重要=>アクティブラーニング型授業に転換するきっかけとなった!!			
1	3 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1	教育課程編成委員会議事録 各科のカリキュラム編成資料 成果のブログ記事	3.1.2e)	
	専門学校生に求められている企業側のニーズの共通的な人材育成の面では各学科があげている成果に表れている。	業界のニーズとしては、人間力、対人スキル、コミュニケーション力など「社会人基礎力」を身につけて、伸び代のある人材を求めている。 そのような人材を育成するために、モノづくり、作品作りチームで取り組むプロジェクト型の教育を行い、社会で活躍できる人材育成に取り組んでいる。			
	IT・ゲームソフト科のアクティビティ	KIA-学生ITコンテストや、INVITE-専門学校ゲームコンペティションへの参加、年3回の学科間交流発表会(卒業制作発表会)やYSEフェスタでの作品展示の恒例化。			
	ロボット・IoTソフト科のアクティビティ	ロボコンへの参加、展示会への出展、年3回の学科間交流発表会(卒業制作発表会)やYSEフェスタでの作品展示の恒例化。			
	コミック・CGアニメ映像科のアクティビティ	外部コンテストへの積極的な応募、横浜市デザイン産学連携プログラムへの参加、年3回の学科間交流発表会(卒業制作発表会)やYSEフェスタでの作品展示の恒例化。			
	グローバルITビジネス科のアクティビティ	スピーチコンテスト、KIA-学生ITコンテスト、INVITE-ビジネスプロデューサーコンペティションへの参加、年3回の学科間交流発表会(卒業制作発表会)やYSEフェスタでの作品展示の恒例化。			
1	4 学校における職業教育の特色は明確になっているか	4 3 2 1	職業実践専門課程申請書類 職業実践専門課程認定後の公表資料別紙4 教育課程編成委員会議事録 各科のカリキュラム編成時の資料 事業計画書、シラバス	3.1.3a)	

		各学科で学生があげている成果が学科の特色を表している	業界で求められる人材育成するために、以下の教育方法をとっている。各学科があげている成果が本校の実践的な職業教育の特色を表している。 アクティブラーニング型授業や産学連携プロジェクト型授業を活用し、専門力、コミュニケーション力を育成している 検定試験、外部コンテストへの応募、競い合いを活用し、自信・主体性を育成している クォーター制及びクラス担任制を活用し、親身な学修サポート・キャリアサポートを行っている		
1	5	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	(3) 2 1 学園ホームページでのアナウンス リアルタイムな活動報告・成果報告 YSE学校案内、学生のおしり	3.3.1a)
			配付物やプリントで説明・案内はしているが、周知具合は把握できていない。できるだけ早い時期に、保護者等にタイムリーに周知できるようにしたい。		

①課題		学生および保護者には、入学前に、理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などを十分検討して学校を選んでもらっているがその後の確認が十分にできていないと言えない。
②今後の改善方策		広報誌YSEnews、YSeeye、本校ホームページなどを通して、理念・目的・育成人材像・特色・将来構想にもとづく学校生活の様子をもっとしっかりと伝えてゆく。
③特記事項		教育課程編成委員会や就職活動などでの企業ヒアリング、神奈川県情報サービス産業協会との情報交換会などで、業界動向や企業ニーズのトレンドを把握し、各学科の育成人材像や教育内容をタイムリーに見直すことができる体制づくりをしている。

2 学校運営		適切：4、ほぼ適切：3、 やや不適切：2、不適切：1	エビデンス (文書番号)	ISO29990 要求事項		
2	1	4	3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業実践専門課程申請書類</li> <li>職業実践専門課程認定後の公表資料</li> <li>県による監査や視察などの結果(3年に1回実施)</li> <li>学校関係者評価委員会議事録</li> <li>教育課程編成委員会議事録</li> <li>企画運営委員会議事録</li> </ul>		
				年度当初の事業計画から年度末の事業報告まで、理事会・評議員会で承認され、専修学校設置基準及び職業実践専門課程認定要件に沿った適切な運営ができています。		
2	2	4	3 2 1	事業計画書、事業報告書、マネジメントPDCAプロセス、決裁規程 組織図、業務分掌表、職務分掌規程	4.1	
				年度当初の組織図と職務分掌(教務・広報業務分掌表、学事分掌表)で定めており、回議書、各種伝票・帳票にも決済ルート明記。		
2	3	4	3 2 1	事業計画書、組織図、職務分掌表、寄付行為、経理規程、企画運営委員会議事録	4.1	
				年度当初の組織図と職務分掌(教務・広報業務分掌表、学事分掌表)で定めており、回議書、各種伝票・帳票にも決済ルート明記。		
2	4	4	3 2 1	事業計画書、組織図、業務分掌表、マネジメントのPDCAプロセス、企画運営委員会議事録	4.2	
				年度初めの事業計画書。		
2	5	4	3 2 1	事業計画書、職務分掌規程	4.2	
				年度初めの「事業計画」のなかの教育基本方針、教育指導目標、就職指導目標、学生募集目標、学科別レビューポイント。		
2	6	4	3 2 1	就業規則、嘱託規程、休職・復職規程、退職金規程、給与規程、 業務報告書、達成度評価表、人事・給与制度、人事考課、教職員研修規程、教育研修計画、教職員研修報告書、教職員選考規程、教職員選考記録	4.1	
				就業規則、嘱託規程、給与規程、休職・復職規程、退職金規程などを整備している。		
2	7	4	3 2 1	講師会資料、授業報告書(毎日)	4.7	
				・学年初めに講師会開催。 ・担任や教科担当との授業後の情報交換を行っている。		
2	8	4	3 2 1	就業規則、嘱託規程、個人情報保護マニュアル、特定個人情報管理規程、寄付行為、 内部監査規程	4.10	
				情報開示規程、特定個人情報管理規程、消防計画……。		
2	9	4	3 2 1	情報開示規程、職業実践専門課程申請書類、職業実践専門課程認定後の公表資料別紙4、学園ホームページ 情報開示ファイル		
				YSEブログ記事、YSEホームページ、その他リーフレットなど配布物。		
2	10	4	3 2 1	ファイルサーバ 業務データ外部保管 G-Suite for Educationの導入		
				学内サーバによる電子化システムと、学外クラウドによるバックアップシステムをハイブリッドで使用している。 G-Suite for EducationのGメールやClassroomの活用により、コミュニケーションの円滑化を図っている。		
2	11	4	3 2 1	企画運営委員会議事録、理事会議事録、評議員会議事録、マネジメントのPDCAプロセス	4.3	
				必要に応じて、企画運営会議招集。テーマに応じて学院長レビュー実施。 毎年、第三者評価を実施。		
2	12	4	3 2 1	学修カルテシステムの記録、個人情報保護マニュアル、学園ホームページの相談受付フォーム	4.4	
				窓口：学生・保護者一担任、企業一就職担当、高校、高校生・父兄一広報室 その後は、教育指導室長一学院長。 対応経過や結果は、関係者間メールや、学修カルテに記録残している。		
2	13	4	3 2 1	学園ホームページ、募集要項、各種チラシ	3.3.1d)	
				窓口：学生・保護者一担任、企業一就職担当、高校、高校生・父兄一広報室 その後は、教育指導室長一学院長。		
①課題 業務のPDCA化は進んでいるが、より一層の充実が必要である。						
②今後の改善方策 教職員に求めるコンピテンシーを明確にする。						
③特記事項 利害関係者からの苦情・要請等への対応は、入学前は教育広報推進室が、入学後は担任を窓口として教育指導室が行っている。個々のケースは対応事例として、学内で情報共有している。 学生の出席状況、履修状況、学生アンケート結果、就職活動、資格取得、対外的な活躍クラス、利害関係者からの苦情・要請等への対応などは、学修カルテシステムにより管理しており、必要に応じて関係者が閲覧し、必要な対応・対策をとっている。						

3 教育活動		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1		エビデンス (文書番号)	ISO29990 要求事項				
		4	3						
3	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1	学則、シラバス、カリキュラム編成資料、職業実践専門課程認定後の公表資料別紙4	3.1.3c) 3.1.1b)	
							・年度当初にカリキュラム表に基づいた時間割を編成し、各クォータ毎に各教科シラバスに沿った授業を運営しており、学習時間、教育到達レベルの確保をしている。		
3	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1	シラバス、教員のコンピテンシー、達成度評価表	3.1.3d) 3.2.3b)	
							・教育課程編成委員会では、キャリア教育・実践的職業教育の視点からカリキュラムの見直しと、教育方法の工夫・開発が議題になり、すみやかに反映させている。		
3	3	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1	事業計画書、企画運営委員会議事録、カリキュラム編成資料	3.2.1	
							・カリキュラム編成にあたっては、学院長から教育理念と育成人材像の点検確認から始まり、企画運営委員会で編成を行い、教育理念・教育目的を確認しながら策定している。		
3	4	情報・IT 分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1	教育課程編成委員会議事録	3.2.2	
							・6月の教育課程編成委員会では前年度のカリキュラム運用の報告をし、9月の教育課程編成委員会では新しいカリキュラムの編成方針を検討している。		
3	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1	カリキュラム編成資料、シラバス	3.2.2	
							・カリキュラム編成の段階で、取得時期、指導方法などを検討している。		
3	6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1	カリキュラム編成資料	3.2.3a)	
							・10-11月に翌々年度の学科計画・カリキュラム検討をし、12月には翌年度のカリキュラムの見直しを行っている。その際に目標とする育成人材像を意識して体系的な見直しと検討を行っている。		
3	7	Can-Do を意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	4	3	2	1	シラバス	3.2.3a)	
3	8	情報・IT 分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1	職業実践専門課程申請書類、職業実践専門課程認定後の公表資料別紙4、 学外研修(インターンシップ)規程	3.2.3c)	
							職業実践専門課程認定後の公表資料別紙4		
3	9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4	3	2	1	シラバス、学生のしおり	3.3.1a) 3.3.1f)	
							年度初め、各クォータの初めに、担当教員から配布して、説明を行ってから授業を開始している。		
3	10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	4	3	2	1	時間割、設備予約システム	3.3.3 4.8	
							・年度初めの施設設備割り当て表、各学期の時間割に明示。 ・リアルタイムにはクラウドシステムで運営管理をしている。		
3	11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	3	2	1	学生アンケート	3.4 3.5.1d)e)	
							・各クォータの最終週に全クラス全教科の授業アンケートを実施し、年4回の評価を行っている。		
3	12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	3	2	1	学則、シラバス	3.5.1b)	
							・学則、シラバスで、評価基準と、卒業要件は常に明示している。		
3	13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1	学校関係者評価委員会議事録、教育課程編成委員会議事録	3.5.1c)	
							・教育課程編成委員会および学校関係者評価委員会では、必ず職業教育に関する評価・ご意見をいただき、教育に反映させている。		
3	14	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1	達成度評価表、学生アンケート、企画運営委員会議事録	3.5.3a) 3.5.3b)	
							・学生の声、同僚の声に基づき、個別にヒアリングを行ったり、授業アンケートの実施結果を利用して、個別に教員へフィードバック・指導を行っている。		
3	15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	3	2	1	個人情報運営マニュアル	3.5.2a)	
							・学内ネットワーク、学内配置のパソコンには、教員、学生それぞれに応じたID/パスワードが設定されている。 ・職員には職位、職域に応じた閲覧権限・アクセス権限が設定されている。		
3	16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4	3	2	1	達成度評価表	3.5.3d)	
							・管理者が必ず全教室を見て回ってモニタリングしている。		
3	17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1	教員コンピテンシー、教員選考規程	4.6.1	
							・スキルや教育力のギャップは研修や自己研鑽で補える教員を確保している。		
3	18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	4	3	2	1	業務報告書、達成度評価表、人事考課表	4.6.2a)b)c) e)	
							・年度途中、年度末には各教員からの業務報告・自己申告をベースにして評価を行っている。		
3	19	情報・IT 分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1	教職員研修規程 平成29年度教育研修計画 研修報告書	4.6.2	
							・学内に外部講師を招いての全体研修と、職員が学外に出向く個別研修を行っている。		

3	20	職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	4	3	2	1	平成29年度教育研修計画 研修報告書、教職員研修規程	4.6.2d)	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>職員は業務に応じた学外研修に参加することで、能力アップを図っている。</li> <li>研修実施後に研修報告書を作成している。</li> </ul>						
3	21	情報・IT 分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1	教職員選考規程、教職員選考記録		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術振興機構、各種ナビサイト、人材派遣会社、などに公募求人を出して人材募集を行っている。</li> <li>人材派遣会社、求人支援会社、などとは常時情報交換を行っている。</li> </ul>						

①課題 学生数の増加に伴い教職員も増員しているため、新任職員に対しての業務説明をしっかりと行う必要がある。									
②今後の改善方策 新任教員も活躍できるように、フォロー体制をしっかりとっていく。									
③特記事項 組織全体としてのスムーズな運用を達成すべく、内外の研修を活用している。									

4 学修成果		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書番号)	ISO29990 要求事項	
4	1	学生学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4 (3) 2 1 シラバス		
			・評価項目は、各教科ごとの基準で行っている。 ・人材像に沿った評価項目で評価を行っている。		
4	2	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 (3) 2 1 学生アンケート、卒業生調査 卒業生就職先企業調査、学修カルテシステム		
			・卒業生および就職先に対して調査を実施している。 ・卒業生からの近況を収集するWebページや、同窓会を通して情報収集に努めている。 ・在校生の活躍は担任を通して把握している。		
4	3	評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	4 (3) 2 1 シラバス	3.5.1a)	
4	4	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4 (3) 2 1 業務報告書、人事考課表、教員のコンピテンシー、学生アンケート、シラバス 業績評価表	3.5.1b)	
			・前年度の反省と新年度の方針にもとづいて、教員に求める人材像や評価ポイントなどは、学院長から年度初めに示される。		
4	5	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4 (3) 2 1 成績証明書、卒業証書	3.5.2a)	
			・社会的に通用する形になっている。		
4	6	ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4 (3) 2 1 事業報告書	3.5.3c)	
4	7	学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4 (3) 2 1 非常勤講師委嘱契約書、非常勤講師会資料	3.1.2b)	
4	8	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 (3) 2 1 卒業生調査 卒業生就職先企業調査	4.4	
			・教育課程編成委員会などで、企業からいただく意見を、教育活動改善に積極的に活用している。 ・卒業生の就職先に対して調査を実施している。		

①課題	卒業後のキャリア形成への効果の把握が十分とはいえない。
②今後の改善方策	キャリア形成という観点で企業から意見を求めながら、教育活動を充実させる。
③特記事項	事業計画、教育計画を全職員に周知し、結束して目標達成に向けて行動している。

5 学生支援		適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1	エビデンス (文書番号)	ISO29990 要求事項	
5	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3 2 1 職務分掌規程 学園ホームページ	3.1.2c)	
			・工業専門課程の進路・就職については、第一教育指導室、商業実務専門課程の進路・就職については、第二教育指導室で支援している。教育指導室長が就職進路窓口となり、担任が履歴書指導、面接指導を実施している。		
5	2 学生相談に関する体制は整備されているか	4	3 2 1 職務分掌規程 学修カルテシステム	3.1.2c)	
			・工業専門課程の学生相談については、第一教育指導室、商業実務専門課程の学生相談については、第二教育指導室で対応している。教育指導室長と担任でチーム体制を取っている。学生個々の状況は学修カルテで情報共有している。		
5	3 保護者と適切に連携しているか	4	3 2 1 学修カルテシステム	3.1.2e)	
			履修や進路に関して、必要に応じて保護者や保証人と連携している。その経緯や結果を学修カルテシステムに記録している。		
5	4 社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3 2 1 学則	3.1.3c	
			通信制の設置し、学生の時間と場所の制約をなくした。		
5	5 卒業生への支援体制はあるか	4	3 2 1 組織図、職務分掌、同窓会運営支援委員会	3.2.2.	
			同窓会運営支援委員会を設置し、情報交換、イベント開催等を支援している。		
5	6 図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	3 2 1 学生のしおり、学校案内、学園ホームページ	3.3.1e)	
			案内し、活用されている。		
5	7 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	3 2 1 授業料減免制度、特待生制度、大学卒特別入学制度、IT女子特別奨学制度 学費延納制度、奨学金活用学費特別納入制度		
			整備されている。		
5	8 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3 2 1 健康管理規程、学校医委嘱契約書	3.5.2b)	
			学年初め健康診断をし、その結果で個別に対応している。		
5	9 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3 2 1 課外活動参加費補助内規		
			・学校で許可した課外活動について経済的な援助をしている。 ・活動場所の提供や、教員の支援、発表機会の提供などを行っている。		
5	10 学生の生活環境への支援は行われているか	4	3 2 1 自宅外通学サポート制度		
			・学生寮は持っていないが、民間の学生宿泊施設や、不動産会社などと提携して、支援を行っている。		
5	11 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3 2 1 仕事の学び場		
	高校生向け、仕事の学び場		・高校から希望があるときには、キャリア教育、職業体験教育、国際協力などの授業を行っている。		

①課題	同窓会を毎年開催しているが、参加者が固定される傾向にある。
②今後の改善方策	同窓会の活動を活性化させるために、同窓会ホームページを充実させた。
③特記事項	いくつかの高校とは、特別授業などでの連携を図っている。

6 教育環境		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1		エビデンス (文書番号)	ISO29990 要求事項
		4	3		
6	1	4	3 2 1	ネットワーク構成図 PC配置状況一覧 校具および教具一覧表	3.3.3 4.8
		パソコンなどはリースで使っているため、3-4年で最新のものに入れ替えている。 最新の教育設備は、教育EXPOなどで毎年チェックし、最新の教育環境を提供できるように努力している。			
6	2	4	3 2 1	校具及び教具棚卸一覧表、校舎安全点検検査結果記録、エアコン点検記録 消防設備点検記録、電気設備点検記録	3.3.2a)
		校舎安全点検は毎月、エアコン点検は年4回、電気設備は毎月、消防設備は年2回実施。 法令に基づき定期的に管理・点検している。			
6	3	4	3 2 1	防災計画書、防災マニュアル、防災訓練報告書、教職員研修報告書	3.3.2c)
		ファシリテーションやアクティブラーニングなどの教育指導研修、防災訓練など定期的に行っている。			
6	4	4	3 2 1	防災計画書、防災訓練報告書、防災マニュアル、セコム警備契約書	4.5b)
		消防計画書に整理されている。防災マニュアルを作成した。自衛消防(防災)隊を組織している。 年2回訓練を実施している。			
6	5	4	3 2 1	学外研修(インターンシップ)規程	4.8
		インターンシップ先の企業を増やしていく。			

①課題	インターンシップの活用について、十分な受け入れ先の確保ができていない。
②今後の改善方策	インターンシップ等受け入れ先を増やしていく。 外国人留学生のインターンシップ受け入れ可能な企業を増やしてゆく。
③特記事項	発表会やスポーツ大会やレクリエーションは、学内外の施設を有効活用している。



7 学生の受入れ募集		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書番号)	ISO29990 要求事項		
7	1	4	3 2 1	入学関連書類ファイリング	3.1.2f)	
				・手続き書類チェックシート(日本人用、留学生用)に基づいて適切に対応している。 ・入学後の入学関連書類は、ファイリングして、 <b>教育広報推進室</b> から教育指導室に移管した。 ・入学しなかった者は、教育広報推進室で適切に廃棄している。		
7	2	4	3 2 1	入学関連書類ファイリング	3.1.2a)	
				・手続き書類チェックシート(日本人用、留学生用)に基づいて適切に対応している。 ・入学後の入学関連書類は、ファイリングして、 <b>教育広報推進室</b> から教育指導室に移管した。 ・入学しなかった者は、教育広報推進室で適切に廃棄している。		
7	3	4	3 2 1	学則、募集要項、学園ホームページ	3.3.1g)	
				・学校案内と募集要項とはセットで配布される。募集要項には、アドミッションポリシー、出願資格、入学資格、学費、奨学サポート、出願から入学手続き完了までのフローチャートなどが明示され掲載されている。		
7	4	4	3 2 1	学則、入学及び学籍異動並びに学費納付に係る取扱要領、学校案内、募集要項、学園ホームページ	3.3.1	
				・学校案内と募集要項とはセットで配布される。募集要項には、アドミッションポリシー、出願資格、入学資格、学費、奨学サポート、出願から入学手続き完了までのフローチャートなどが明示され掲載されている。		
7	5	4	3 2 1	学校案内 YSEnews、Yseye 高校訪問報告書 ホームページ	3.1.2e)	
				口頭やチラシ等の配布物や、Webページ、ブログなどで、リアルタイムに発信している。 <b>チラシ等の配布状況は高校訪問報告書に記載している。</b>		
7	6	4	3 2 1	学則、シラバス	3.3.1a)	
				ガイダンス時の配布物や、質疑応答で説明している。		
7	7	4	3 2 1	志願者カルテ	3.1.2d)	
				<b>把握に努めているが、強制的に申告させているわけではない。説明会等で個別に面談を行う場合もありそれを志願者カルテに記録している。年度の切替時に教育指導室に情報を移管している。</b>		
7	8	4	3 2 1	学則、 個人情報保護マニュアル 防災マニュアル	3.3.1c)	
				ガイダンス時の配布物や、質疑応答で説明している。		
7	9	4	3 2 1	学則、募集要項、近隣他校の学費調査		
				他校と比較して妥当と判断している。		

①課題	学生募集については、日本人学生が思うように入学してこない。
②今後の改善方策	高校訪問先や参加するガイダンスの範囲を広げている。 ドローン、VRなどをプロモーションを活用している。 動画、SNSの活用を進めている。 InfoClipper、Web出願システムの導入で業務の効率化を図っている。
③特記事項	ホームページの充実をはじめ、季刊誌「YSeYe」や月間ニュース「YSEnews」を発行し、高校生に本校を知り、興味をもってもらう機会を積極的につついている。

8 教育の内部質保証システム		適切-4、ほぼ適切-3、 やや不適切-2、不適切-1	エビデンス (文書番号)	ISO29990 要求事項		
8	1	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1	個人情報保護マニュアル 特定個人情報管理規程	4.1	
		とれている	・個人情報については、個人情報保護マニュアル、特定個人情報管理規程を定め、気を付けて運用している。			
8	2	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1	内部監査報告書 事業報告書 私立学校現況調査、私立学校検査	4.6.2f)	
		なされている	3年に1度、神奈川県による監査が入るが、創立以来、監査をきちんとクリアしてきている。			
8	3	文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	4 3 2 1	・経理規程 ・「物品購入(経費支払)申請書」「書籍購入申請書」「教材申請書」の取扱要領 ・決裁規程	4.1	
		OK	・経理規程、「物品購入(経費支払)申請書」「書籍購入申請書」「教材申請書」の取扱要領及び、各申請書に承認決済の流れを明示して運用している。			
8	4	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	4 3 2 1	内部監査規程 自己点検評価報告書 学校関係者評価報告書 是正報告書	4.9	
		OK	・問題点は見つかるたびに、個々に手を打ち、年2回は全体の確認を行っている。			
8	5	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4 3 2 1	内部監査報告書	4.9a)-c)	
		OK	・個々に課題や問題に対処している。			
8	6	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4 3 2 1	内部監査報告書	4.9d)	
		OK	・個々に課題や問題に対処している。			
8	7	内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	4 3 2 1	是正計画書 是正報告書	4.9e)	
		OK	・個々に課題や問題に対処している。			
8	8	自己点検・評価結果を公開しているか	4 3 2 1	学園ホームページ		
		公開している	・自己評価は学校関係者評価を受けた後、公開している。			

①課題 諸規程等を定期的に見直している。
②今後の改善方策 見直し時期を定期化する。
③特記事項 運営の充実に努めている。

9 財務		適切：4、ほぼ適切：3、 やや不適切：2、不適切：1				エビデンス (文書番号)	ISO29990 要求事項	
		4	3	2	1			
9	1	4	3	2	1	監査報告書	4.5.a)	
		・毎年、監事による監査を行い、理事会・評議員会で報告し、情報公開も行っている。						
9	2	4	3	2	1	情報開示規程	4.5.a)	
		・できている。						
9	3	4	3	2	1	過去3年分の決算書		
		・安定している。						
9	4	4	3	2	1	事業計画書 予算書		
		・妥当である。						

①課題	予算書作成時点で見えない費用が多々出てくる。
②今後の改善方策	予算書作成のための準備時間を十分に確保する。
③特記事項	監事による監査や第三者評価を毎年行っており、財務面でも、健全な学園運営ができています。

10 社会貢献・地域貢献		適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1	エビデンス (文書番号)	ISO29990 要求事項	
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 (3) 2 1 事業計画書 仕事の学び場実施資料 小学生のためのプログラミング/ロボット教室実施資料 受講者一覧表		
			・行っている。		
10	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 (2) 1 課外活動参加費補助内規		
			・学校にボランティアの募集がきた場合には、学生に対して案内をしている。		
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 (3) 2 1 総務省「若年層に対するプログラミング教育の普及推進」資料		
		している	・総務省「若年層に対するプログラミング教育の普及推進」事業応募		

①課題	地域に対する公開講座や教育訓練の開催を通して貢献してゆく。
②今後の改善方策	地域に対する公開講座や教育訓練を再開した。地元の小学生対象プログラミング教室を継続開催している。
③特記事項	再就職を目指す公共職業訓練受託業務として、新たに、「Javaプログラマ・基本情報対策講座」と「eラーニングによるExcelデータ分析講座」を手掛けた。

11 国際交流(必要に応じて)		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書番号)	ISO29990 要求事項
11	1	4	3 2 1 事業計画 留学生受入れ方針	
			・留学生30万人計画への貢献は、学校としての教育目標の1つになっている。	
11	2	4	3 2 1 学則 学籍マスタ 募集要項	
			・留学生の受け入れは、日本語学校からの紹介を中心に、入学者選考試験を経て、受け入れている。	
11	3	4	3 2 1 学修カルテ	
			・担任、教育指導室で対処している。 ・指導記録や特記事項などは学修カルテに記入し、関係者で情報共有する体制ができています。	
11	4	4	3 2 1 コンテスト実施要綱	
			・コンテストに出場することによっておこなっている。	

①課題	留学生は学費、生活費ともアルバイトへの依存度が高い。従って、学習面での指導に加え、オーバーワーク、健康面などへの配慮など多面的なフォローが課題である。
②今後の改善方策	定期的なアルバイト先調査による労働条件などの確認、日々の声かけ、学校を休んだときの連絡などきめ細かなフォローを行い、健康・生活面での不安を取り除き、安心して学校生活を送れるようフォローしていく。
③特記事項	留学生の学生数は増加傾向にあり就職先も多岐にわたっている。しかし、留学生が企業から内定をもらっても就労ビザ申請の段階で学んだことと就労先の業務のミスマッチでビザが不許可になるケースが散見される。今後、就職支援室及びクラス担任と連携を密にしミスマッチによるビザ不許可が出ないようにする。